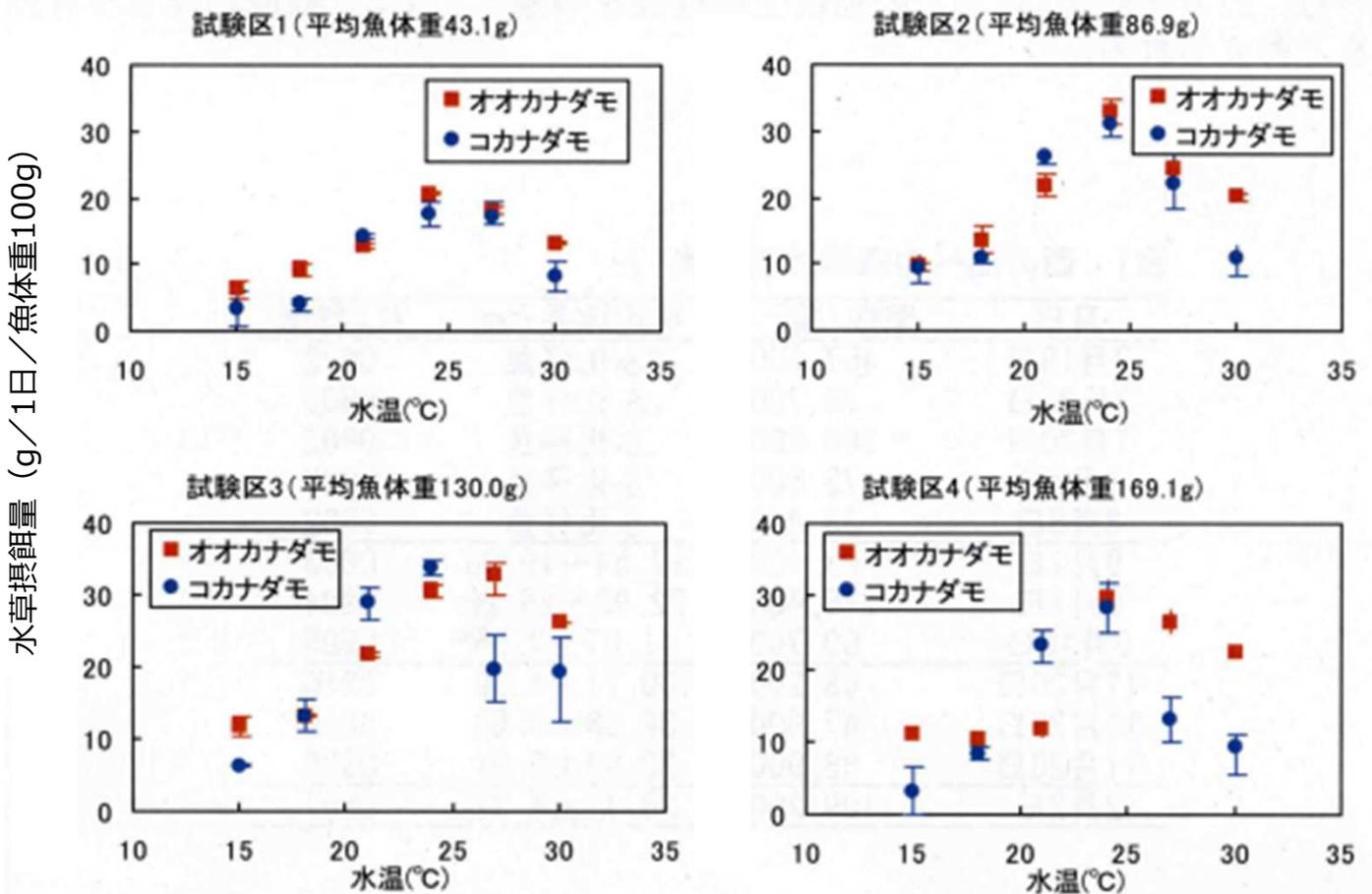


琵琶湖海区漁業調整委員会資料  
令和 5 年 (2023年) 3 月 28 日  
農 政 水 産 部 水 産 課

### ワタカの水草除去効果について

- ・漁場環境の改善を目的として、ワタカを第4次栽培漁業基本計画（平成12年度）から対象としている。
- ・水産試験場による調査・研究では、飼育下および天然水域で水草を摂餌することが確認されている。
- ・ワタカの水草の摂餌は水温24℃で最大となり、魚体重100gあたり17.5～33.7gを1日に摂餌する。
- ・この結果から、魚体重100gあたりの水草摂餌量を20gと仮定すると、夏季にはワタカ資源量1トンあたり1日に200kgの水草を摂餌すると試算される。
- ・これらのことから、ワタカの放流は琵琶湖の水草対策に有効であると考える。



図：ワタカのサイズおよび水草の種類別の水温と摂餌量の関係（飼育試験結果）

表：琵琶湖北湖で漁獲されたワタカの月別の消化管内容物の種類別の出現頻度

月	調査尾数(尾)	出現頻度 (%)			
		水草	糸状藻類	その他	空
8	5	100.0	0.0	0.0	0.0
9	14	100.0	0.0	7.1	0.0
10	14	100.0	0.0	7.1	0.0
11	28	78.6	64.3	10.7	3.6
12	20	20.0	25.0	15.0	45.0